



ハウス!
Illustrated
by eigetv

どうしてあんなことになつてしまったのだろうか



またきたのか…
こんな妖怪に毎日…
飽きないな

辛い…
硬いこというなよ
俺の土地だ
何したところで
問題ないだろ？

今日は犬連れて
きてやったんだからさ
楽しんでくれよな

パウッ!

なっ!?

後から知った事だが
その犬は村で若い女を
何人も襲っており手を
焼いていたみたいだ
そこで私の家に置いて
いくことにしたらしい

よしっ!!

ハウスだ
いけっ

うわっ

そんなに強くない私が
簡単に組み敷かれるのは
当然で…

人ならば言う事を聞いて
終わるのを我慢してれば
いいのだが

やっ
やめろっ

相手が犬となれば
四つん這いになって交尾を
しないといけないし
そんなのはあり得ないし
少ないプライドが…

だから必死で抵抗を
したのだが…
ひっかかれたり
噛みつかれてしまった

あくまでも軽く…言う事を
聞かないと次はないと
ばかりに少しづつ力を
強められたので思わず
抵抗を辞めてしまった

痛っ!?

うぐっ!?



抵抗は生傷が増える
だけとわかったので
渋々舐めたのだが…

うぐえ…っ
おえっ



うっ…
臭いっ

頃合いと
判断されたのか
獣くさい犬のペニスを
突き出してきた



構造は人と変わらないが
匂いも味も比べものに
ならないほど雄臭く
嗅ぐと頭が痺れて…

気がつくとしんカスや
前の交尾の汚れ…などを
全部舐めとりむしゃぶり
ついていた

うぶっ

雄の匂いに：私の中の雌が
屈服したのだろうか
殆ど無意識のうちに綺麗に
してた

うぷっ
生臭い：

息が：酷い雄の匂いに
なっているのが
丸わかりだ
いつの間にか大分
濡れてるし：

発情した私の匂いに犬が
気がついたのか：
むさぼられてしまい

あっ
そこはあっ

ざらついた舌で執拗に
舐めとられ：あっけなく
イってしまった

放心状態でいた私にのしかかり交尾の体制になつているところで我にかえったが：

なっ!?

そ…それだけはっ

うっ尻尾が…

既に急所の尻尾を抑えられていて食いちぎられたら…と思うと抵抗できなかつた

だ…だめ…そんなの入ったら…

そのまま犬の体重がかかり

はぐう!?

カリ高のチンポが一気に入ってきました

今まで知っている人間のモノとは長さも太さも違うというの頭ではわかっていただけ

うあっ

おっ…奥まで…



いざ挿入されると他の
雄では届かなかった奥が
グニャリと潰れ思わず
姿勢を崩してしまった

うあっ!?

あぐっ!?

姿勢を崩しても構うこと
なく液を吐き出しながら
叩きつけてくる犬に
何もできず喘ぐのみだった



犬の根元が段々膨らんでいき完全に抜けなくなってしまった

根元が膨らんでっ
な…なかつ
ひっぱられっ

膣が引っかかるのを
気にすることなく
中をとことんと責められ
全身から毛が抜けるような
感覚になるほどだった



な…なにか
でてりゅっ

何回いったか分からなくな
った頃に犬の動きが
止まり本格的な射精が
はじまってしまった

うぐっ?!



当然のごとく
ドロドロの精液を
受け止めきる
ことはできず



散々奥を潰され
カウパーで満たされた
グズグズになった
子宮では…



もう中…無理っ
出さないでえ…

子宮が膨らんでいく感覚に
何度もイってしまい
完全に犬に服従する他
なかったんだ



尻合わせになり3度目の
射精が始まった
膣内に溜まる古い精液が
子宮内で混ざり合う
感触でまたイってしまった

うくっ...
まだでてりゅう...

つっ...

ガクガク

フボ
ビュッ
ビュッ



カッポッ

や...やっと
終わった...

長い射精が終わり
腰が完全に抜け
放心状態だったが...

この犬は他のとは
違い...

えっ...

1回や2回で満足しない
絶倫であの後散々
気が狂うほどやられて
しまった

あれっ

ご主人様あ
人間がきましたよお？

数日後あの男が来た時
とてもひどい状態
だったらしいが
良く覚えてない

終